

## 秋の叙勲 瑞宝単光章

〈消防功勞〉  
澤田弘士氏

町内追分在住の澤田弘士氏が平成22年秋の叙勲において瑞宝単光章を受章され12月7日追分庁舎において胆振総合振興局地域政策部長より伝達を受けました。

澤田氏は昭和43年12月に旧追分町消防団団員に奉職して以来、連続37年の永きにわたり消防業務に精励し、平成10年分団長、平成14年副団長、そして平成15年から勇退される平成18年3月までは団長として常に卓越した統率力を発揮されました。



澤田氏はその他にも追分町農業委員や追分町農業協同組合副会長・JAとまこまい広域理事のほか多方面にわたって活躍され消防団での功績や町の経済発展へのご活躍などが認められての受章となりました。

伝達後の懇談では「人の為に何か役に立つことをしたい」とはじめた消防団では、「51年の追分機関庫の火災等の大きなこともあったが、昔は川の増水などの出動も多く意外と忙しかった」と消防団での当時の活動や苦勞などをお話いただきました。

瑞宝章は、「国家又ハ公共ニ対シ積年ノ功勞アル者」に授与すると定められ（勲章制定ノ件3条1項）、具体的に「国及び地方公共団体の公務」または「公共的な業務」に長年にわたり従事して功勞を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与されます。

## 「北海道学び推進月間」

標語の入選

追分高校3年 北井沙也加さん  
「増やしませんか。  
あなたの心の本棚を」



北海道教育委員会が平成21年度から4月と11月を「北海道学び推進月間」と決め、この期間に学習や読書の大切さについて考えてもらい、表現した標語やポスターの募集を行っています。

追分高校ではこの取組みを授業で取上げ、今回はじめて標語の応募を行いました。全道から集まった500点以上の作品の中から高等学校の部、胆振管内から唯一入選作として選ばれた北井さんに、12月15日胆振教育局長より賞状の伝達が行われました。

北井さんは、「学びに関して本を読むとか限られたイメージではなく、日ごろの人の付き合いなど生活からも学びを得られることを標語にしてみたい」と奥の深い作品への思いをお話しをいただきました。

北海道学び推進月間で入選した作品は、「学力向上のための各種事業での重点的な取り組みや家庭学習や読書などを奨励する広報活動などに活用される予定です。」

## 北海道社会貢献賞

〈森を守り緑に親しむ功勞者〉

平成7年に設立した「学校のドングリの子孫を残す会」はミズナラの苗木づくりからはじめた町民協働の森林づくりの推進活動は、現在では「森林教室」「自然体験教室」の開催、無償提供で植樹をつづけている苗木も1、400本余りを数えるなど地域で幅広

く活動を行なっています。

これらの功績が認められ北海道社会貢献賞の受賞が決まり12月16日札幌市内のホテルで表彰式が行われました。



学校のドングリの子孫を残す会（会長 矢農完一）の9名を代表して賞状を受取る多田氏

森を守り緑に親しむ功勞者（緑化）の表彰基準には緑化の推進・指導・森林の環境教育に尽力し、若しくは貢献し、その厚生が極めて顕著であつて他の模範となる者となっています。  
また10年以上行っていることも要件の一つとなっています。